

令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	37	学校名	仙台市立鹿野小学校	校長名	留守 智信
------	----	-----	-----------	-----	-------

1 取組のタイトル, テーマ

「未来の私たちへ ～今の自分にできること～」



2 取組の紹介

(1) 緑化活動

鹿野小学校の環境委員会では、緑化環境の整備を行っています。草取りから、花を植える作業、管理をする作業まで児童が取り組んでいます。季節ごとに花壇を彩る花を変えることで、学校生活の中で四季折々の草花を身近に感じられる環境づくりに努めています。

学校花壇では、学校給食からの生ゴミなどを堆肥化した肥料「杜のめぐみ」を使用し、仙台市のリサイクル事業に取り組んでいます。

(2) ゴミの分別

鹿野小学校では、環境委員会の児童が中心となって積極的にごみの分別を全校に呼びかけています。実際に児童が分別を考えながらゴミを捨てる姿が多く見られます。

(3) 各学年での取り組みから

4年生では、社会科「ごみの処理と利用」の学習において、松森清掃工場・資源化センターへ見学に行きました。清掃工場では、ごみを処理する仕組みについて学び、資源化センターでは、ごみの再生や再利用の取り組みについて知ることができました。教科書で学んだことを実際に体感したことで、さらにごみの分別に対する理解を深めることができました。



子供たちが、それぞれの家庭において意識することなく取り組んでいたごみの分別ですが、今後はより高い意識で取り組んでいけるきっかけとなりました。

5年生では、総合的な学習の時間において、1年間を通して、学校の田んぼで環境について考え学習してきました。まず、環境に興味を持つ第一歩として、地域の方に教えてもらいながら、春から秋にかけて田んぼの管理を行いました。その中で、米が入っている稲穂が少ないという課題が出ました。その原因について考え話し合う中で、子供たちからは「地球温暖化」などの環境問題が関係しているかもしれないという考えが出ました。そこで、環境問題について詳しく調べ、友達に発表する活動を行いました。自分たちが体験した米作りから課題を見出したことで、環境問題を自分事として捉え学習に取り組むことができました。さらに、自分たちで環境問題について調べていく中で、「なんとかしたい」という思いを持ち、現在は、環境問題を解決するために、自分にできることを探しています。



3 取組の成果 (児童生徒の変容)

自然の資源を大切にすることやごみを分別することがなぜ大切なのか、なかなか自分事として考える機会は多くありません。しかし、体験として学びを得たことで、未来の環境を守るために、自分たちの生活に生かしていきたいという思いを持つことができました。また、自分たちだけでなく、もっとたくさんの人に伝わってほしいという思いも芽生えています。今後も、そのような子供たちが環境に対する思いに気付けるような学習の機会を作っていきたいと思えます。